



キャリアプロジェクト

啓

だより

2025

ひら
知を啓き 心を啓き 新しい伝統の扉を啓く

桜美林大学高大連携コーディネーター
今村亮先生による探究ガイダンス

◆【1学年】高校生が生きる未来とは？

人生100年時代、人口減少、シンギュラリティなどをキーワードに予測困難な時代だからこそ求められる探究力についてお話いただきました。

また、「課題設定」→「情報収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」の探究サイクルが示され、大学側も「探究」する受験生を求めていることなど「探究」することの重要性を学びました。



◆【2学年】6ゼミ研究スタート！

「工学」「科学技術」「医・看護」「教育・こども」「栄養・スポーツ」「まち・国際」から興味・関心や希望進路に関連したテーマを設定し探究に取り組めます。テーマ設定にあたり大学生のメンターから、テーマ設定のコツについて話していただきました。「好きなこと」を掛け合わせたり、「身近な疑問」をタネに探究したりと身の丈に合ったテーマにすること。楽しんでワクワクできることがよいなどとアドバイスをいただきました。

◆栃木の魅力を発信するコラボ企画

1学年では葉聖里祭においてキッチンカーとのコラボ商品の企画・販売を行います。自分たちが楽しむだけではなく「栃木の魅力を発信」と「オリジナル商品の企画・販売」がミッションなのでクラス内で相談を繰り返しながらすめています。



佐野市商工会議所の協力のもと、以下のキッチンカー業者とコラボいたします。

- 1組 ミルク割り(クレープマルシェ)
- 2組 黒から揚げ(なるねこ)
- 3組 クレープ・ホットドッグ(クレープマルシェ)
- 4組 いもフライ(プログレッソ)
- 5組 やきそば(中里製麺)

◆佐野東高校「一日大学」(6月12日)

関東圏の大学25校をお招きして、模擬授業をしていただきました。生徒は自分の興味・関心のある講座を2講座選択し、真剣な眼差しで専門的な授業に臨んでいました。

《ご参加いただいた大学》

(生徒の主な感想)

大妻女子	獨協医科
獨協	群馬
東京女子	茨城県立医療
千葉	群馬パース
白鷗	高崎健康福祉
高崎経済	育英
群馬県立女子	筑波
国際医療福祉	前橋工科
文教	帝京
宇都宮	足利
昭和女子	東京都市
国立音楽	北里
女子美術	

- 人間は生物多様性がないと生きていけないということが分かった。生態系を守ることに積極的に取り組みたい。(環境学部)
- 世界でタンパク質源が不足していることがもう始まっていることとその対策で細胞ベース食品があることを知った。(食健康科学部)
- 実際の大学の授業に近い内容で、「循環」について深い話が聞けた。看護におけるアセスメントの重要性が理解できた。(看護学部)
- 臨床工学技士は生死に関わる仕事だと実感した。沢山の医療機械を点検・操作する重要な役割だと思った。(医療技術学部)
- 教育の課題や教師の使命などを理解することができた。疑問を持つことの大切さがわかった。(教育学部)
- 法律とは決まりで解釈は全員一緒だと思っていたが、条文の解釈の仕方は人それぞれであり、法学の意識が一変した。(法学部)
- 深海生物について詳しく知ることができた。プラスチックが深海まで影響し、生態系を壊していることがわかった。(海洋生命科学部)
- 文化人類学とは世界各地の異文化を通して、自文化を問い直すものだと初めて知った。(国際社会学部)



◆生成 AI を活用した探究活動

今年度新たな試みとして探究活動に生成 AI を導入しました。興味があることを入力すると内容を深堀りできるような質問を投げ返してくれる生成 AI で、個人研究に常に他者が介在するような利点があります。友人同士で互いの研究について議論することも大切ですが、このような ICT を上手に活用しながら探究活動を進めていきたいと思います。



◆TOKYO STARTUP GATEWAY

1 学年は「400 字からはじまる起業体験」プログラムを受講しました。本コンテストは『「東京」から世界を変える若き起業家を輩出するブラッシュアップ型コンテスト』として、実現可能なものではなく、熱意や情熱あふれる「荒削りなもの」を「起業同期」コミュニティとして作り上げていくものです。生徒は日常をよりよくするための夢やアイデアを「400 字」に詰め込んでいました。



◆足利大学 青柳育夫先生 特別授業

2 学年理型クラスを対象に「課題研究の方法～よりよい探究活動のために～」という題で特別講座をしていただきました。足利大学には9月の「Kei プロ Day」でも多くの生徒を受け入れていただいています。青柳先生からは探究活動やリサーチクエションの重要性について説明いただきました。生徒にとって探究テーマに対する「問い」を再検討するよい機会となりました。



1 学年 職業・学問の扉をひらく

学びに向かう力×協働する力
共に成長する力

0 期（1 年次 4～5 月）

◆探究ガイダンス

（桜美林大学 今村 亮先生）

Kei スタート!!

一日大学（6 月） 1 年：大学の学びを知る

2 年：学問を深める

3 年：志望校決定につなげる

1 期（1 年次 6～9 月）

◆佐野市の活性化のために高校生としてできる取組を考え、提案する。

◆学校祭における中間発表
地域とのコラボ商品の企画・販売

（夏休み）オープンキャンパス参加、夢ナビ視聴、各種講座・体験活動への参加

Kei プロ Day（9 月） 1 年：キャリアミーティング 2 年：フィールドワーク

3 年：進路研究

2 期（1 年次 10～3 月）

◆キャリアミーティング（桜美林大学）

社会や入試制度を知る
社会人や大学生とライフプランについて語り合う機会とする

◆Kei 学年発表会

自身のライフプランと社会を結ぶ具体的な提案を一人ひとりがポスター発表に行う

◆Kei プロジェクト発表会

1, 2 年生全員が発表後、代表者による発表会を実施

2 学年 将来設計図を描く

協働する力×未来をひらく力
社会で活躍する力

3 期（2 年次 4～7 月）

◆探究ガイダンス（4 月）

◆ゼミ選択（5 月）

◆テーマ決定・研究計画書（5～6 月）

◆中間発表（7 月）

4 期（2 年次 8～12 月）

◆中間発表

テーマに関する情報を整理・分析し、自分の考えを発信する

5 期（2 年次 1～3 月）

◆Kei 学年発表会

図や表を用いて、ポスターにまとめる
聞き手に伝わる表現を工夫し、一人ひとりがポスター発表を行う

◆Kei プロジェクト発表会

3 学年 進路実現に向け行動する

未来をひらく力×学びに向かう力
挑戦し続ける力

完成期（3 年次）

◆入試形態・アドミッションポリシー研究

◆小論文講座

◆三者面談における進路プレゼンテーション

Kei 集大成!
進路への決意を語る

◆入試対策①（学校推薦型・総合型）

面接・グループディスカッション

志望理由書・小論文

◆入試対策②（一般選抜）

入試研究

受検スケジュール作成

Kei

2025
3 年間の流れ

2 学期にむけて ◆9 月 12 日に「Kei プロ Day」が行われます。今年度は新たな試みとして 1 学年は桜美林大学新宿キャンパスを訪問し、「ディスカバ!」による高校生プログラムに参加します。2 学年は研究テーマに応じたフィールドワークを行います。こちらも昨年度より訪問場所や滞在時間を増やして生徒の学びがより有意義になるように計画をしています。3 学年についても受験モードが本格化するなか、多様な入試形態に対応した指導を企画しています。◆また、昨年度より採択されていた一般財団法人「三菱みらい育成財団」の継続助成が認められました。◆探究活動に取り組む生徒の能力の伸長ももちろんですが、本プロジェクトがさらにブラッシュアップされるとともに、持続可能なものとなるように関係各所と連携を深めていきたいと思っています。



一般財団法人

三菱みらい育成財団